



あなたが支払った税金のうち

10,000円は
何に充てられているか?

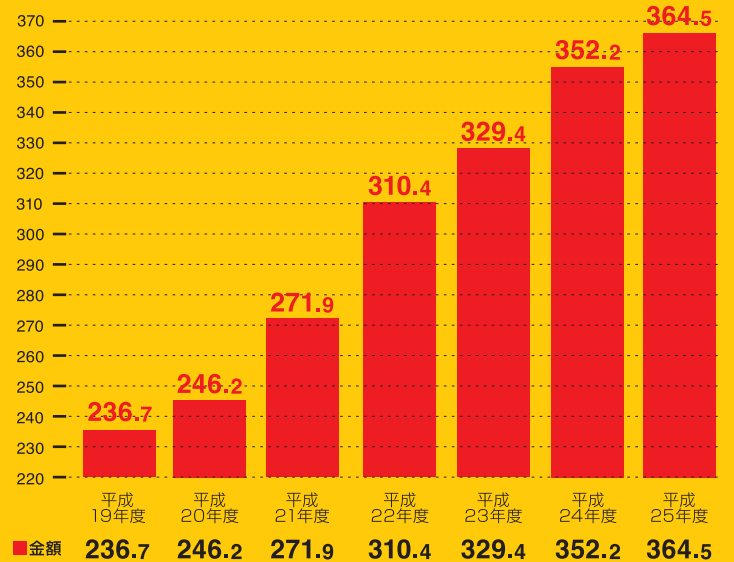
2,042円は、

生活保護費
に充てられています!

生活保護費は年間で約360億円に達し、区の予算の約1/5を占めています。もちろん生活保護制度は最低限度の生活を営む権利を保障するためにも必要な制度ですが、これだけ多くの人が生活保護に頼らざるを得ない状況に社会の歪みを感じます。雇用環境の安定や格差是正が求められます。その一方で、生活保護制度を巧みに利用する悪徳ビジネスの暗躍、生活保護の不正受給、遊興などに充て込んでしまう不適切な支出といった問題が生じており、制度の運用にも課題が表面化しています。

●生活保護費の推移(単位:億円)

年々増加し、区の財政を圧迫する大きな要因となっています。



田中やすのり

の**主張**

私はこうします!

働ける世代は「生活保護受給者」から「納税者」へと脱却を!

働ける世代の生活保護受給が急増しており、平成19年との比較で見ると、約3倍にもなっています。就労・就職へと繋げるための自立支援プログラムを実施し、自立への個別サポートを拡充します。また、病気やケガなどから回復したにも関わらず、生活保護費を受給し続けることがないように、定期的に生活状況を確認し自立支援プログラムへの参加を促します。



- ★専門部署である自立支援係を設置
 - ★3,848人に自立支援プログラムを実施
 - ★1,331人が就労・就職へと繋がる
- ※平成19年度から平成26年12月までの累積値

不正受給と不適切な支出は見逃さない。徹底した糾弾を!

所得があるのにそれを隠して生活保護を搾取る不正受給については返済・弁済を迫ります。不正受給を未然に防ぐためには福祉事務所の窓口の対応にも目を光らせる必要があります。また、パチンコなどの遊興に生活保護費を使い込んでしまう不適切な支出をなくしていくために、日常の生活指導を徹底し支給方法に工夫を施していきます。



- ★警察官OB(3名)を窓口配置
- ★不正受給に対して約2,399万円を弁済(H25実績)
- ★直接の手渡し支給、分割支給を実施
- ★家賃の不動産会社への直接払いを実施

赤塚・成増生まれ、板橋育ち。地域と生きる。

板橋区議会議員

田中やすのり



新しい政策と行動プランについて
お知らせします!!

地域

地域のことは地域の力で解決できる
仕組みを!

- 地域力を活かした高齢者の見守りネットワークづくり
- 地域が学校を育てていく“コミュニティ・スクール”を始めよう

防災

急所・弱点のない防災体制をつくる!

- 国道などの緊急輸送路・避難路沿いの建築物の耐震化率を“100%”へ
- 1人では避難できない要援護者を全員把握し、個別に支援計画をつくる

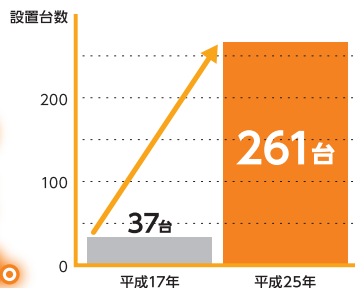
行政改革

徹底的にムダをなくし、癒着は断ち切る!

- 類似事業は統合を進め、二重行政は撲滅へ
- 新たに民間の力を活用し、経費を削減しながら、サービスの向上を実現する

要望が実る

命を守る
AEDの設置に
努めてきました。



朝の駅頭にて
区政報告を実施中!

プロフィール

昭和49年板橋区成増生まれ。
成増すみれ幼稚園、成増小、赤塚第二中、城西大学川越高を卒業。
早稲田大学商学部を経て、大手広告会社(大広・博報堂DYG)に勤務。



監査委員に若くして抜擢!



NPO活動

NPO地域コミュニティデザイン研究所を設立、代表に就任。
成年後見制度普及、高齢者見守り・孤独死防止などに取り組む。



議会活動・政治歴

○2007年に板橋区議会議員選挙に挑戦して、上位にて初当選を果たす。現在は2期目。
○都市建設、企画総務、健康福祉、文教児童委員会など幅広く歴任。都市建設、都市環境調査特別委員会、予算調査特別委員会の副委員長、交通対策調査特別委員会の委員長を務める。
○2012年には30代の若さで監査委員として選任される。



子どもたちの健全な成長を
支える活動、命を守る活動に励む

資格・ボランティア

ボランティア:消防団員(上級救急救命士)、いきいき寺子屋スポーツ指導員
趣味:早朝の硬式テニス、下手なジャズ・サックス

